AIRMASTER

PERFORMANCE



AIR MANAGEMENT X6

[取扱説明書]

V.1.0

ご注意事項

電気安全

1.システム設置時は必ず回路を遮断すること。システムの組み立て完了後、配線が設置基準に適合していることを確認した場合のみ、閉回路でシステムへ給電可能とする。
2.車両の通電前、またはバッテリーに接続する大電力機器作動前には、必ず回路を遮断すること。瞬間的な過大電流によるシステム電子制御部の損傷を防止するためである。本マニュアルの指示に従わず電子制御部が破損した場合、修理申請時の保証対象外とする。
3.車両を長期使用しない場合、回路の遮断を推奨する。
4.システムが作動しない場合、まず配線の接続状態およびMCUヒューズの正常性を確認した上で、その他の不具合原因を調査すること。

設置のヒント

1.車両の排気部を高温から遠ざけ、配管·電源線·センサー信号線の配線設計を保護してください。
2.エアチューブの接続時は、切断面が平滑であることを確認し、底部まで確実に挿入してください。

品質保証

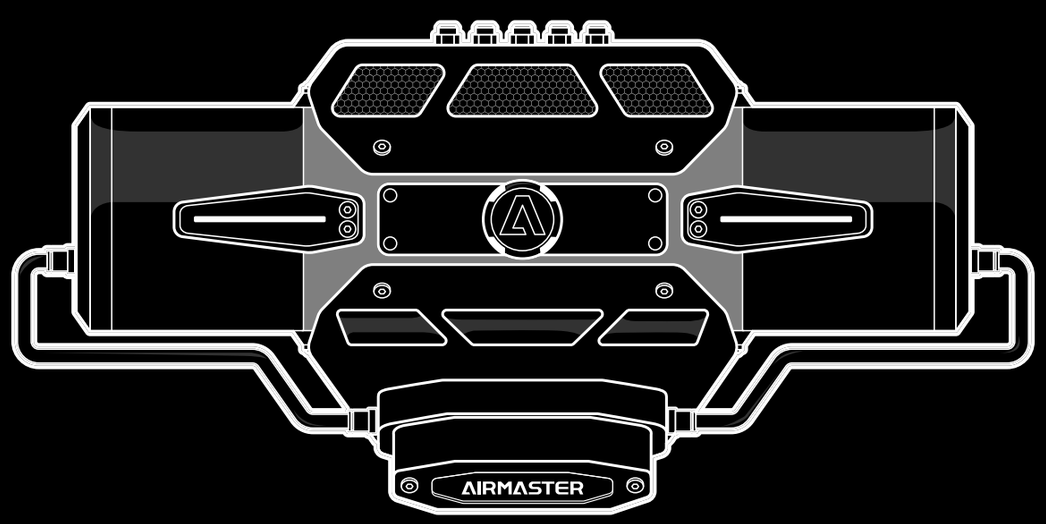
1.本システムの保証期間は作動開始日より有効となり、本体·高さセンサー·旋回式リモートコントロールはいずれも1年間保証されます。
2.さらに長期の保証プランご希望の場合は、販売店までお問い合わせください。
3.日常使用による消耗部品は保証対象外となります。

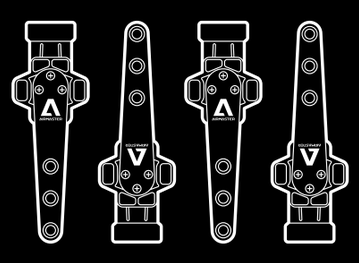
製品紹介



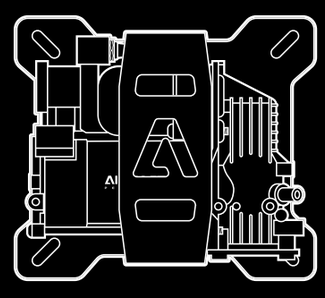
X6 マスターキット

X6-HPG マスターキットハイト·センサー·圧力センサー·セット



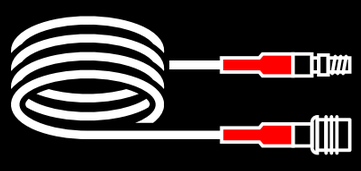


X6 マスターキット

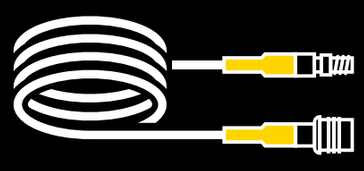


ハイトセンサー

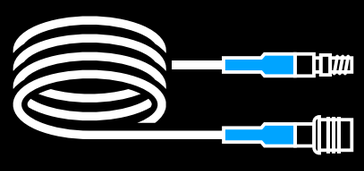
コンプレッサーキット



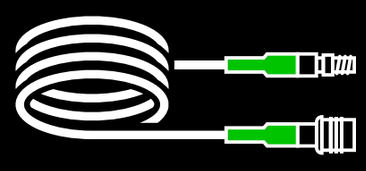
ハイトセンサー配線-1



ハイトセンサー配線-2



ハイトセンサー配線-3



ハイトセンサー配線-4



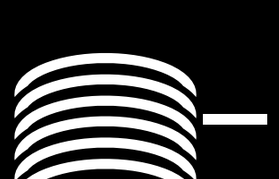
電源コード



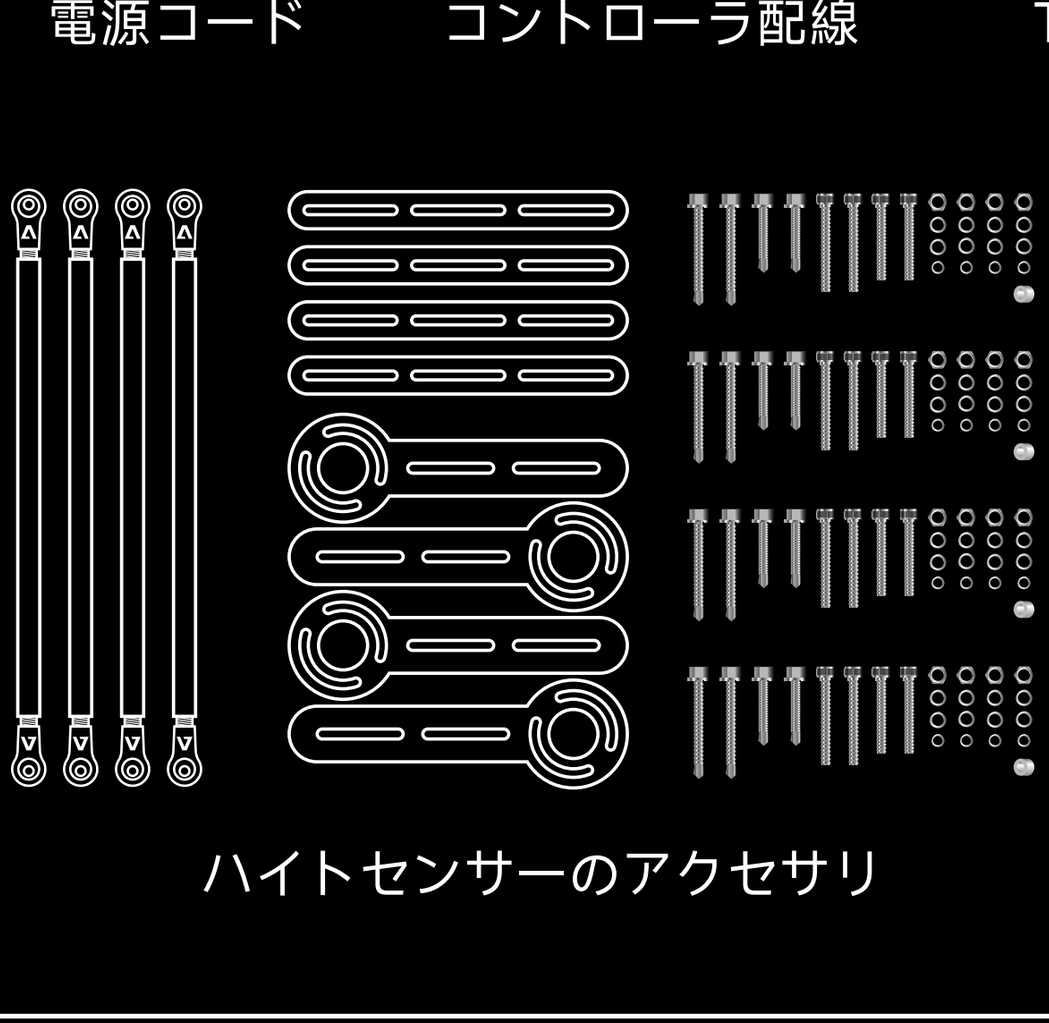
コントローラ配線



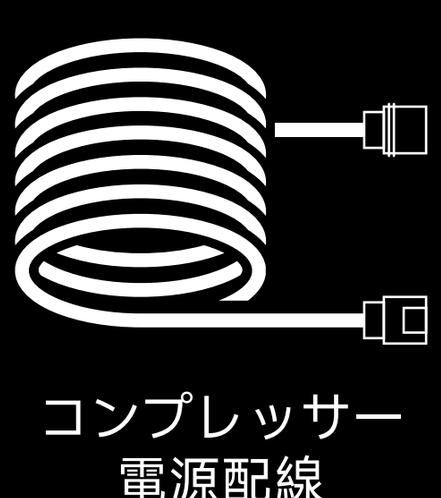
Type-C



6mm エアホース



ハイトセンサーのアクセサリ



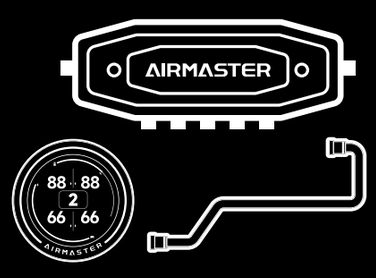
コンプレッサー電源配線

製品紹介 2#

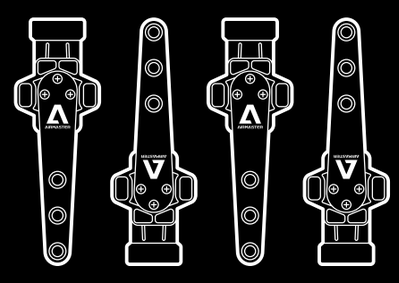


X6標準キット

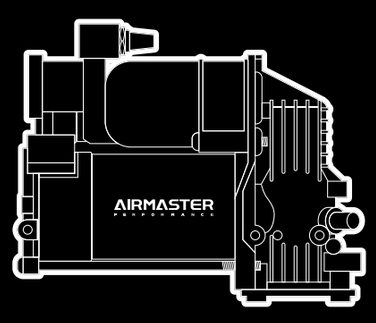
X6-HP ハイトセンサーキット



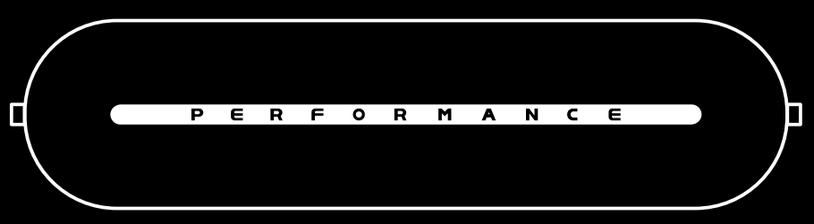
X6



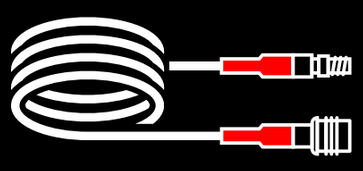
ハイトセンサー



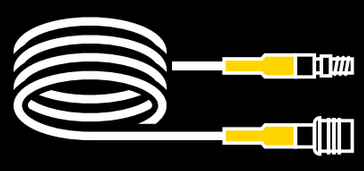
コンプレッサーキット



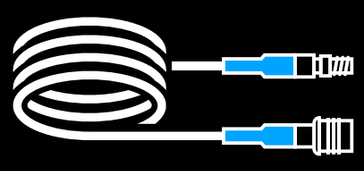
シームレスアルミタンク



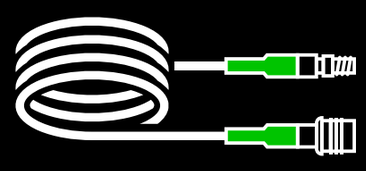
ハイトセンサー配線-1



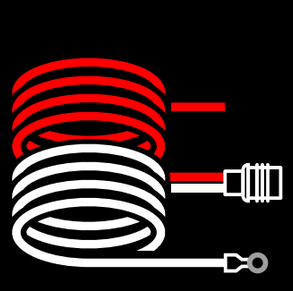
ハイトセンサー配線-2



ハイトセンサー配線-3



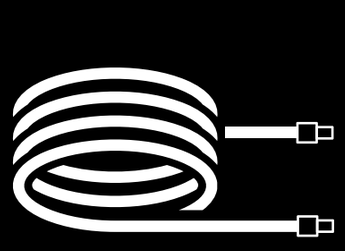
ハイトセンサー配線-4



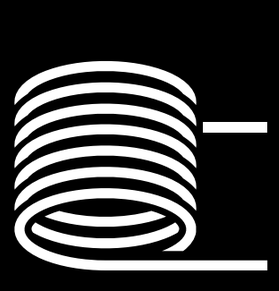
電源コード



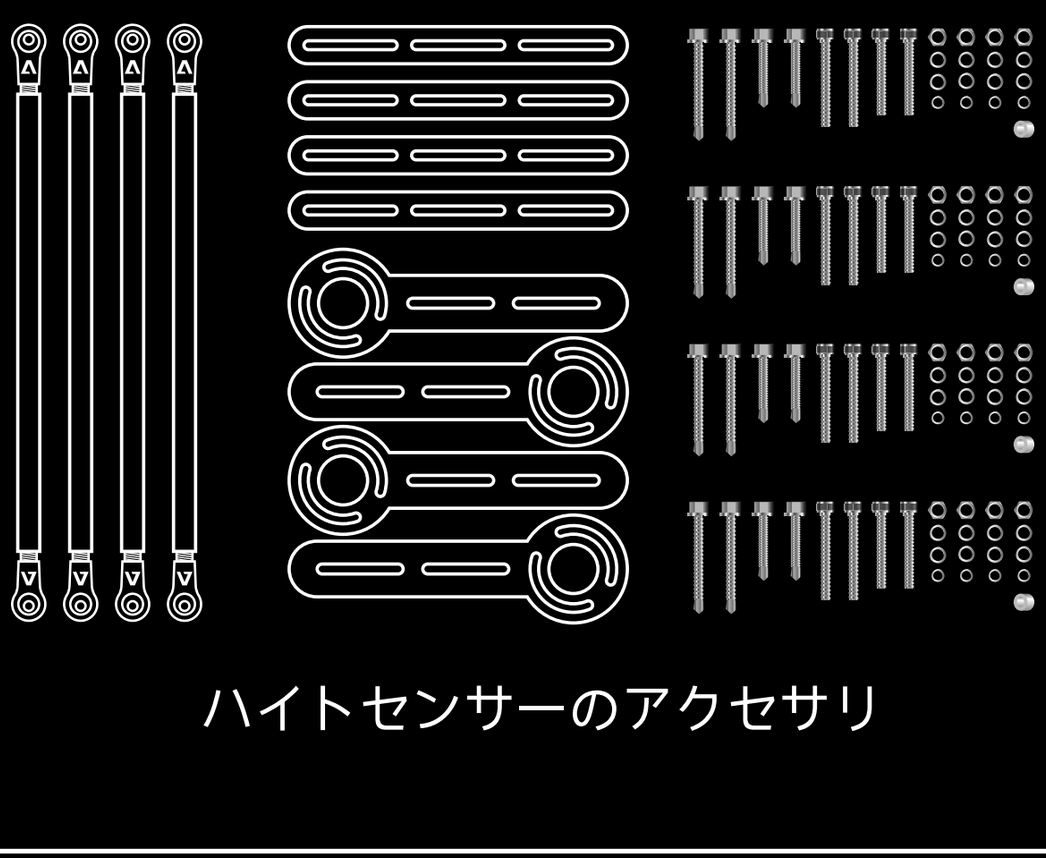
コントローラ配線



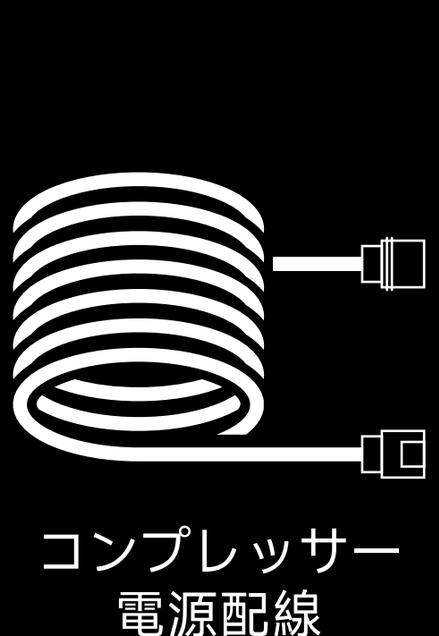
Type-C



6mm
エアホース



ハイトセンサーのアクセサリ



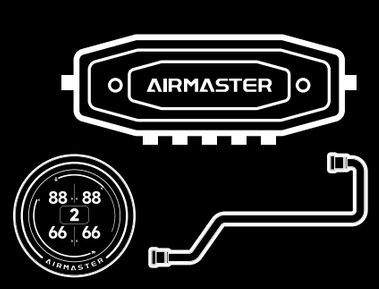
コンプレッサー
電源配線

PRODUCT INTRODUCTION

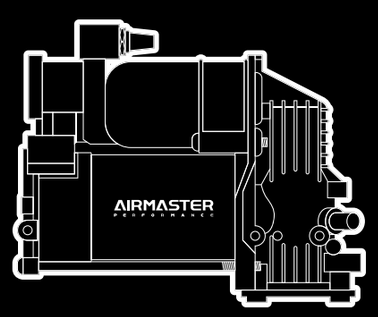


X6標準キット

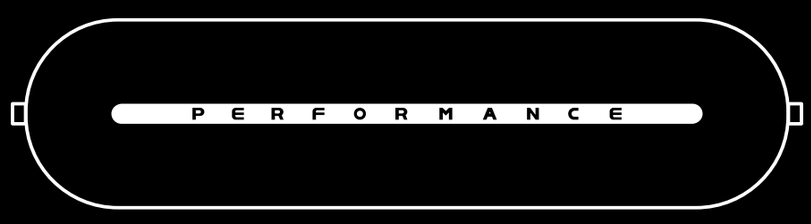
X6-P 空気圧センサーキット



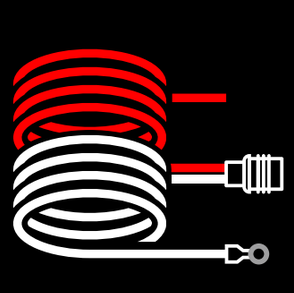
X6



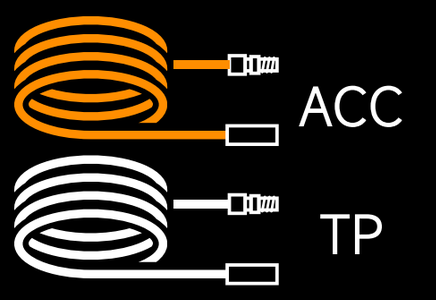
コンプレッサーキット



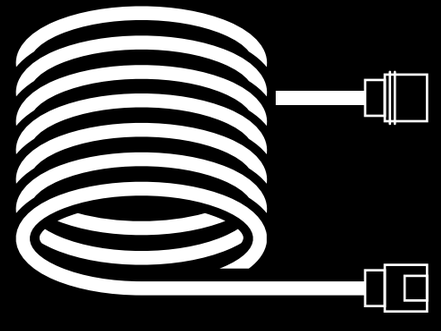
シームレスアルミタンク



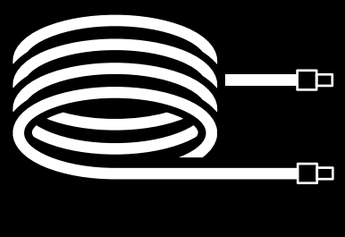
電源コード



コントローラ配線



コンプレッサー電源配線



Type-C



6mm エアホース

ハーネス
接続図

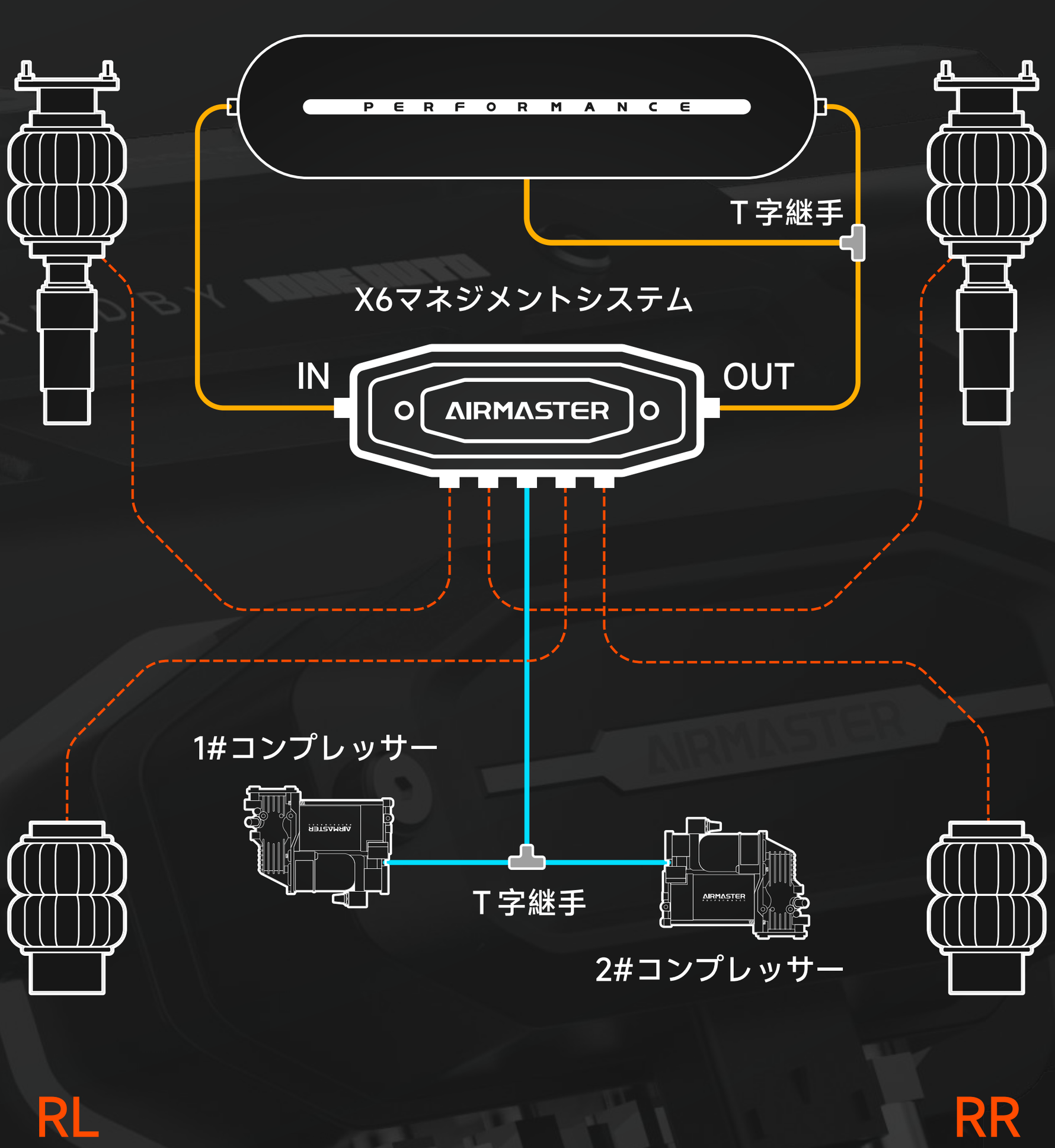
実際のオーダーキットに従って、取り付ける配線回路を選択してください

1.[配管図]
2.[高度センサ配線系統図]
3.[気圧センサー配線接続図]
4.[HUB 回路図]

AIRMASTER

PERFORMANCE

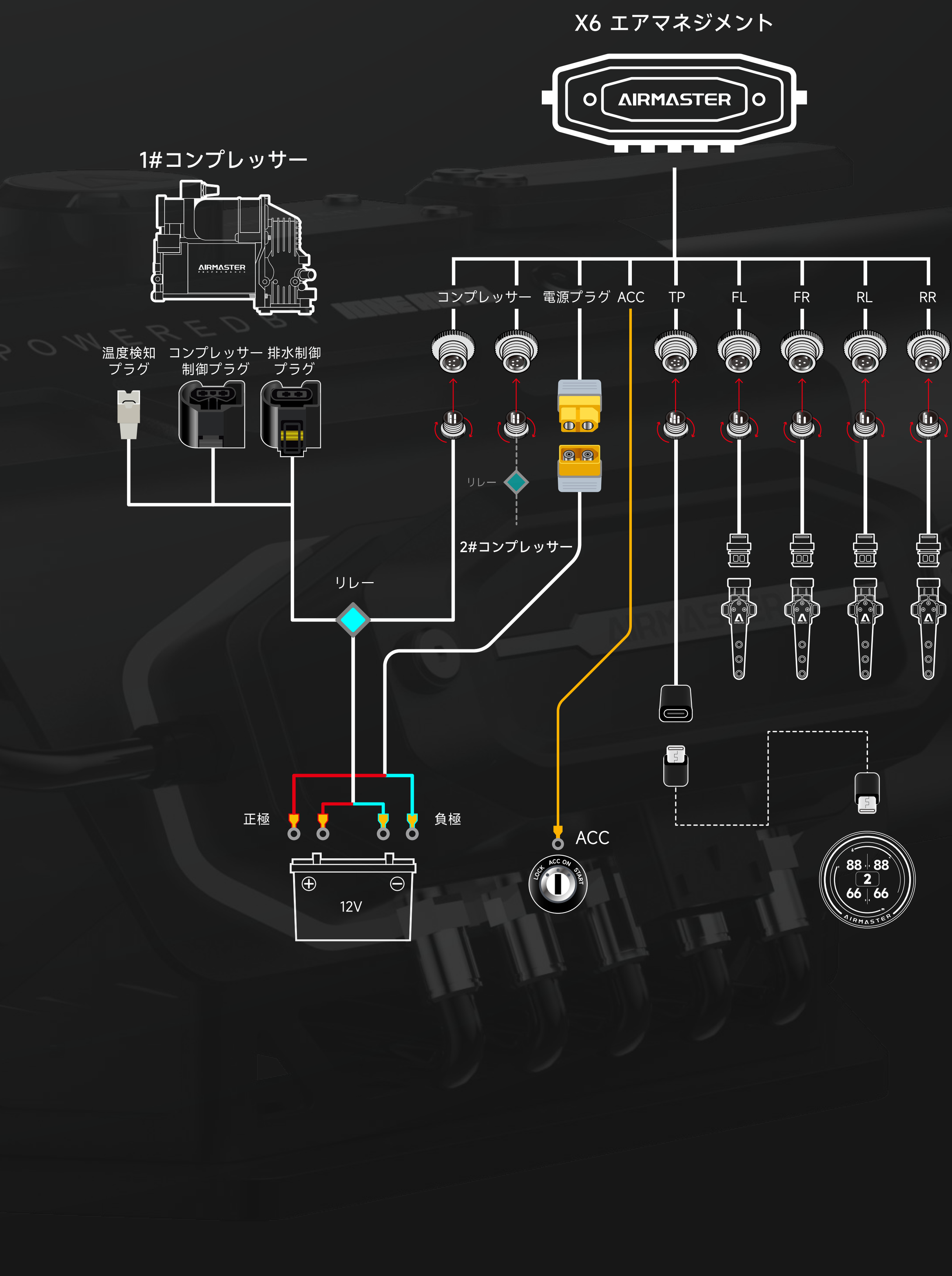
配管図



AIRMASTER

PERFORMANCE

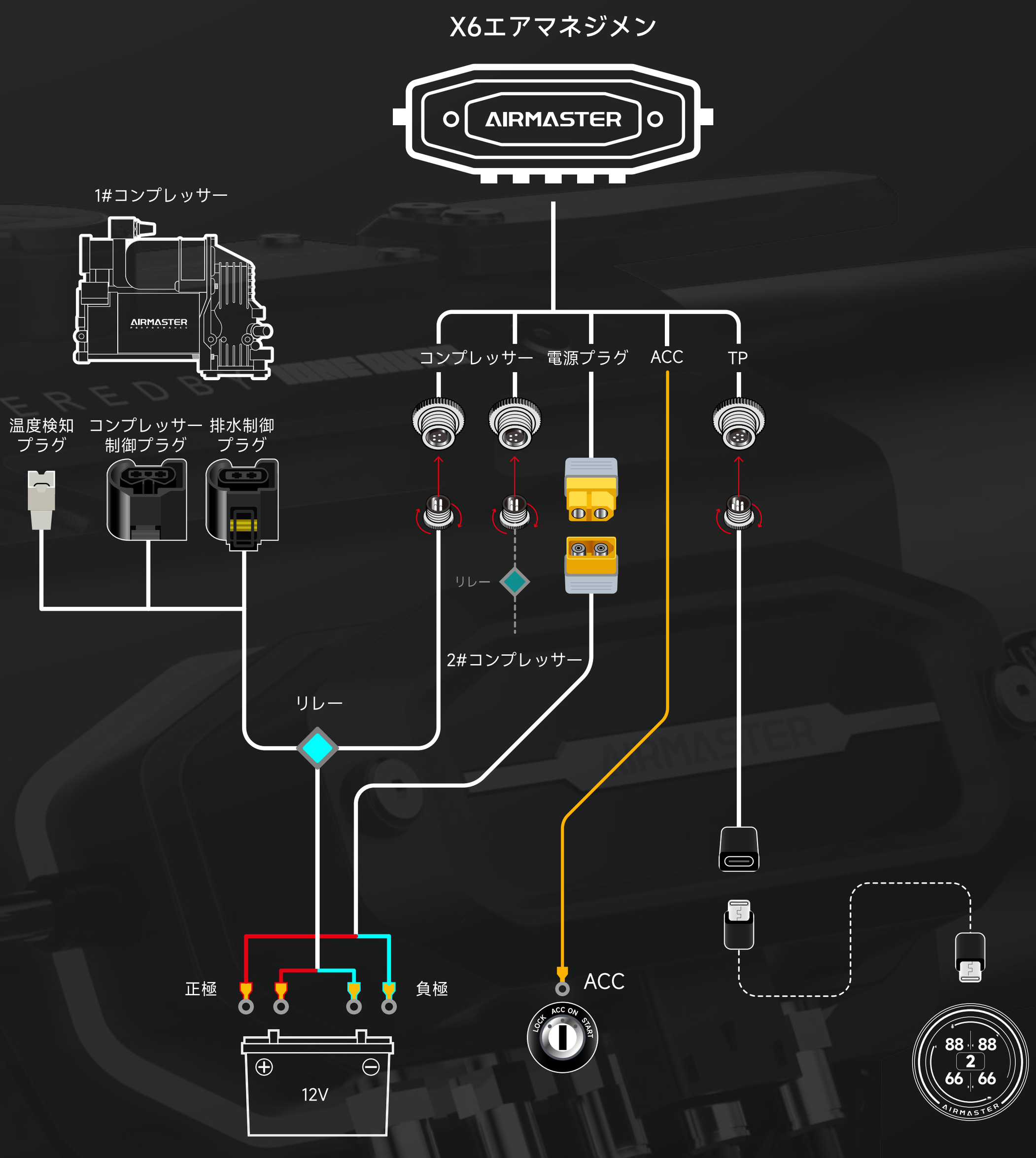
高度センサ配線系統図



AIRMASTER

PERFORMANCE

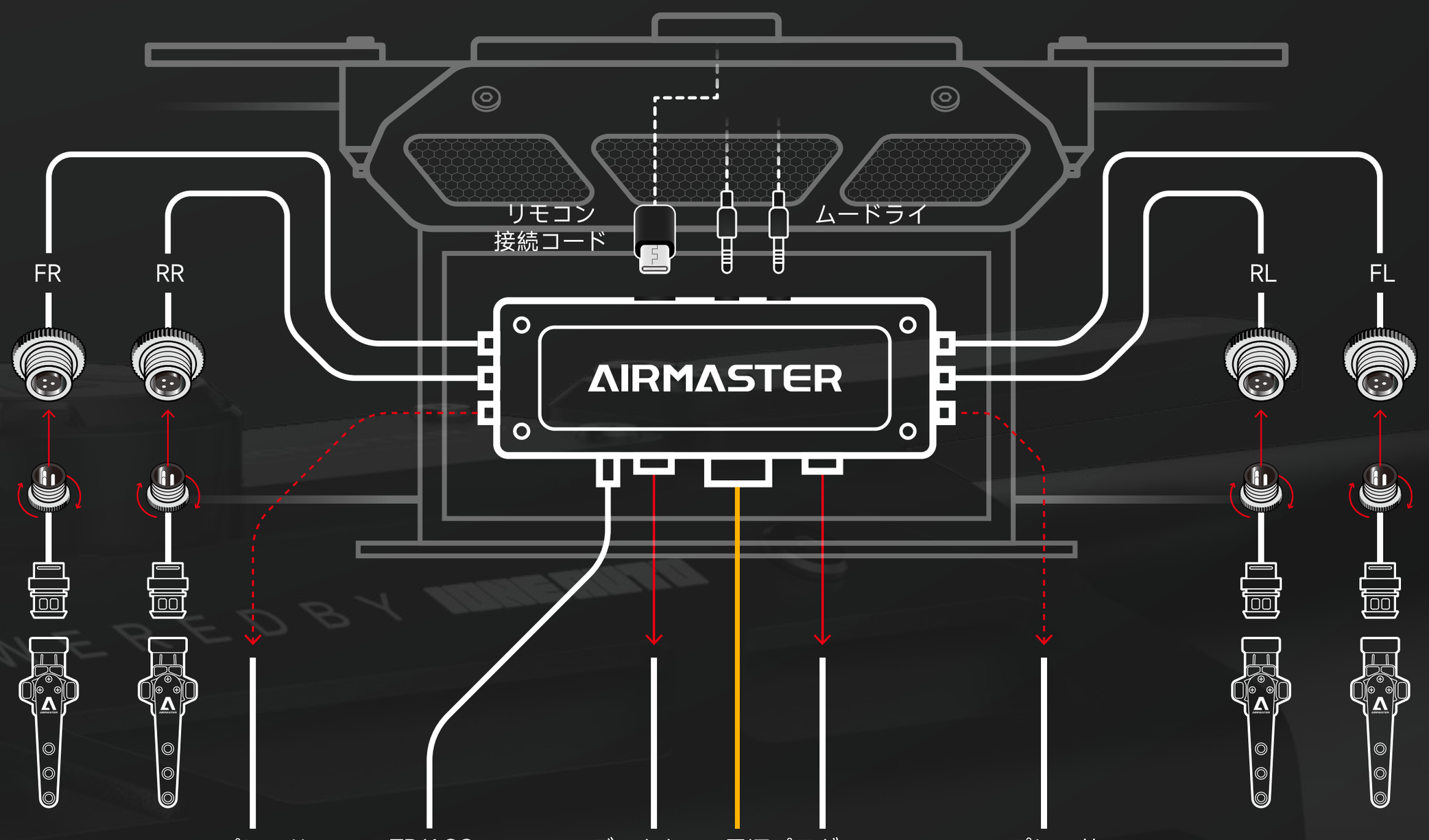
気圧センサー配線接続図

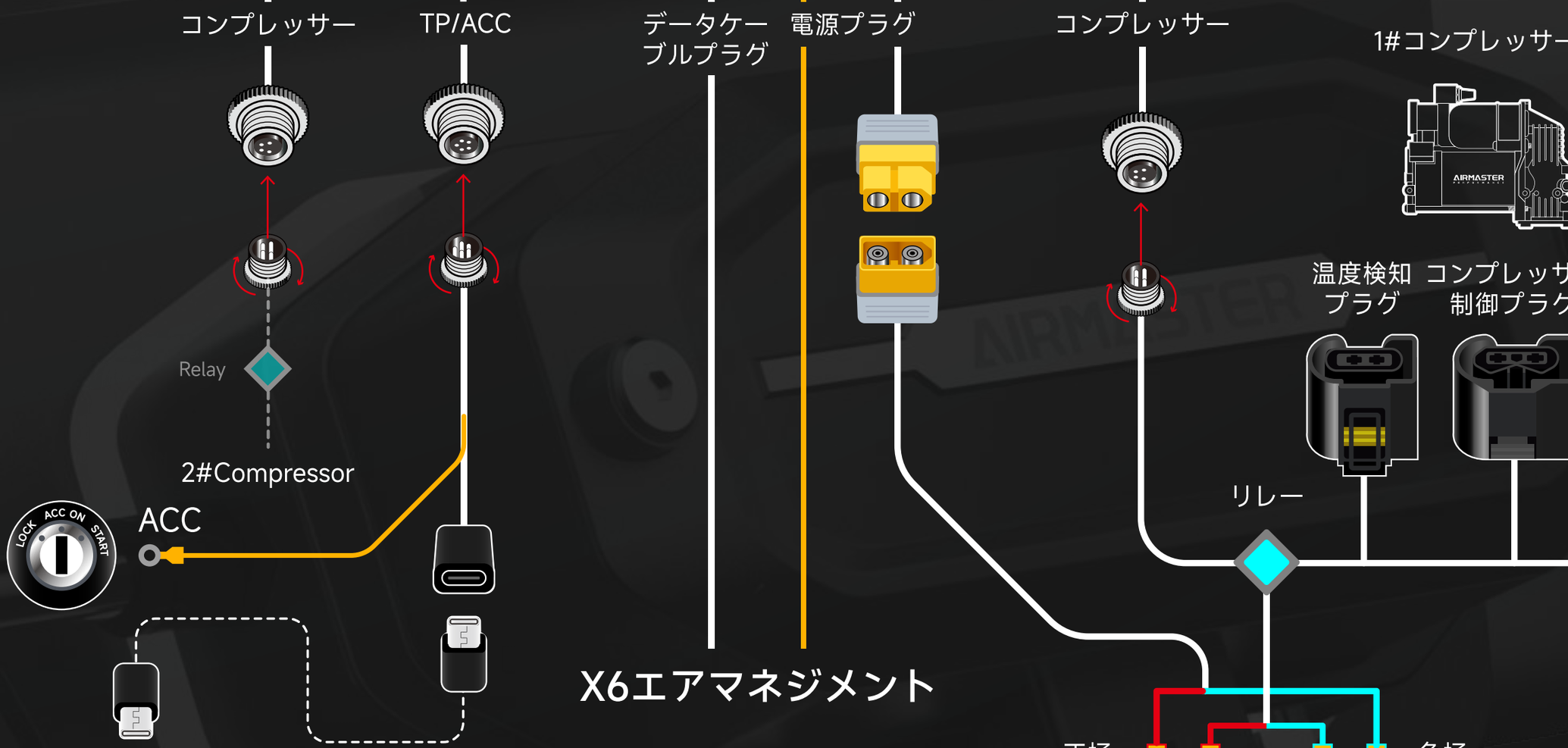


AIRMASTER

PERFORMANCE

HUB回路図



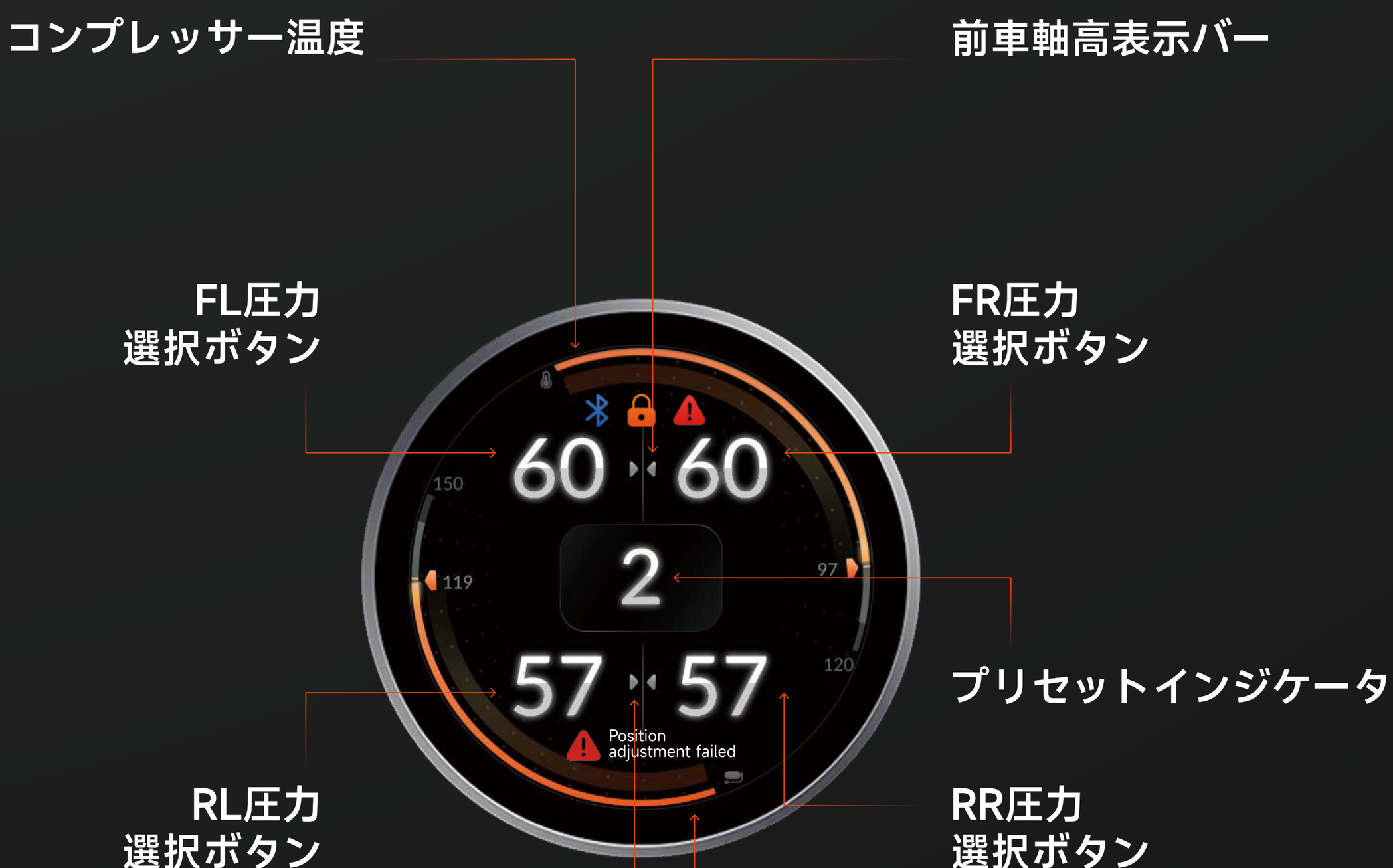


ユーザーマニュアル

回転タッチコントローラ操作ガイド

1.メイン画面の各項目を説明します。

※ 回転タッチコントローラは、装置の故障を防ぐため、X6システム本体以外のType-Cインターフェース（例：パワーバンク、充電器など）への接続が禁止されています。」



2.サブメニューの指示



Bluetooth接続： このアイコンはBluetoothのオン／オフ切替スイッチです。ブルーは接続オン、グレーはオフを表します。

モーショントラックロック： アイコンをタップすると色が変わり、機能が有効になります。オン状態で車両が動き出すと、制御装置による車高の上下調整がブロックされ、車両が停止中の一時的な解除のみにより設定変更が可能です。

アクティブドライ： アイコンをクリックすると乾燥機能を手動で起動できます（システムはエアタンクの湿度を監視し、自動的に動作をトリガーする場合もあります）。

手動エア補充： アイコンをクリックするとエア補充が開始され、再度クリックで機能を停止します。

荷重バランス制御： アイコンをクリックすると、過積載状況や乗員着席時にも車高バランスを維持します。

高さプリセット： アイコンをクリックするとプリセット設定画面に移動でき、低い（ベース）位置から「プリセット1」「プリセット2」「プリセット3」「プリセット4」までのカスタム設定が可能になります

3.ホーム画面操作ガイド

アウターリングノブ機能：

1. ホーム画面のスタンバイモード時に、アウターリングノブを回転させることでギア（プリセットモード）を選択できます。各プリセットの詳細は下図の通りです。



2. ホーム画面のスタンバイモードで、外側のリングを回して高さを調整します。操作方法：圧力の数字を一つまたは複数（左前、右前、左後、右後）クリックし、オレンジ色に変わったらクリックして選択を完了します。回転を開始します。時計回りで上昇、反時計回りで下降します。





クリックでプリセットを調整します。色がオレンジからグレーに変わった時点で、調整が反映されます

さまざまな操作には、アウターリングを物理的に回転する必要があります



数字をクリックすると、エアサスペンションが個別に上下し、外側のリングを回転させて特定の値を調整します。

メニューナビゲーション

1.メニュー画面の詳細説明

ホーム画面操作ガイド	下位メニュー	機能説明
上にスワイプ クイックアクセス	ブルートゥース	このアイコンをクリックすると、Bluetoothスイッチがオンになります。青色がオン、灰色がオフ
	モーショントラック ロック	この機能が有効時は車両走行中にリモコン操作が不可となり、停車時に自動解除されますが、無効時はリモコンによるロックが実行されません。
	能動乾燥	このアイコンをクリックすると乾燥機能を手動で操作でき、さらにシステムはタンク内の湿度を検知して自動作動の有無も判断します。
	手動空気補給	アイコンをクリックすると、システムが空気の補充を開始します。再度クリックすると、空気補充が停止します。
	負荷分散	アイコンをクリックすると、荷重変化による車高変動時、システムが自動的に車両を水平に調整します。
	高さ設定	このアイコンをクリックすると高さメモリー設定画面に入り、ロー（LOW）及び1～4までの5段階のプリセット高さがカスタマイズ可能です。
下にスワイプ システムエラー通知	システム警告通知バー	本システムはすべての故障メッセージを表示可能で、各種高さセンサー異常、空気漏れ警告、温度異常アラート、システムアラーム等を含みます。偶発的な故障については「ワンキークリア」をクリックすることでリセット可能です
左にスワイプ 手動操作メニュー	手動操作	前輪の高さ調整：左前エアサスペンションと右前エアサスペンションは個別に手動高さ調整可能、もしくは両方の前部エアサスペンションを同時に手動調整することもできます
		後輪の高さ調整：左後方エアサスペンションと右後方エアサスペンションは個別に手動高さ調整が可能、または両方の後部エアサスペンションを同時に手動調整することもできます。
右にスワイプ メニュー設定	基本設定	1. 言語選択: 日本語、英語
		2. 輝度調整：画面の全体明るさを調整可能です
		3. ボタン設定：ボタン音と振動フィードバックの ON/OFF を選択可能です
		4. Bluetooth設定：携帯電話を使用してアプリを制御し、リアルタイムで制御できます
	システム設定	1. エアタンク圧力：タンクの高圧値と低圧値を設定することで、エアコンプレッサーの作動開始/停止圧力範囲を制御しま
		2. プリセット高さ設定：LOW、1、2、3、4の5段階の高さプリセットを設定可能
		3. バッテリー保護機能：16V高電圧保護スイッチと（9～12Vでカスタマイズ可能な）低電圧保護機能を搭載。
		4. 安全運転圧力保護： 走行中にエアサスペンションの空気圧が下がりすぎないよう、前後輪ごとに最低圧力値をPSIで設定できます。この設定値は、停車時以外であればどのモードでも維持されます。
		5. 始動/停止連動設定： 始動時プリセット（1～4から選択可能）、停止時ギアモード（低～4段階まで選択可能）
		6. メンテナンスモード： 本機能を有効にするとコンプレッサーの動作が停止し、システムメンテナンスが可能となります
		7. 圧力バランス機能： 車高設定後、自動的に左右の空気圧バランスを調整。車体左右のエアサスペンション圧力を均一に保ちます。
	システムキャ リブレーション	1. 手動キャリブレーション： システムはセンサーを自動検出し、5種類の高さプリセットを設定しますが、車高の上下限は手動で設定する必要があります。
		2. 自動キャリブレーション： システムがセンサーを自動検出し、車高の上限·下限値を自動検知した上で、5種類の高さプリセットを設定します。
	製品について	バージョン

2. 手動キャリブレーション と自動キャリブレーシ

システムキャリブレーションは手動キャリブレーションと自動キャリブレーションに分かれており、システムキャリブレーションと車高センサーの校正には自動キャリブレーションの使用が推奨されます。キャリブレーションプロセスでは車高センサーの測定範囲が再校正され、最終的に正常な走行要件を満たすようセンサー設定が調整されます。



手動キャリブレーション

手動校正は、自動校正で目標高さに到達できない場合に、手動で空気を補充することで車両の最小·最大高さを設定する方法です。残りの検査手順や調整は全てシステムが自動で完了し、追加の手動設定は必要ありません。



手動で最小高さを設定する

手動で最大高さを設定する

自動校正

自動校正は、車両の最高高さと最低高さを自動的に設定し、センサー状態やその他のシステム状態を自動検出します。校正に失敗した場合は、システムの指示に従って調整してください。



3. コア機能

走行空気圧保護

この機能は、車高センサーに物理的損傷が発生した場合でも、走行中のショックアブソーバー空気圧が予め設定した値を下回らないように制御することで、安全な走行継続を保証するものです。最小保護空気圧は現地での実測値に基づいて設定する必要があり、例えば前後エアサスペンションの最低動作圧力が40PSI(2.76bar)の場合で、車両が正常に走行·操舵可能な状態であれば、40PSIを最小保護圧力値として設定できます。これにより、車高センサーやその他のセンサーに突然の故障が発生した場合でも、空気圧が40PSI未満に低下せず、安全な走行が維持されます。



メンテナンスモード

アクティブメンテナンスモード機能は車両整備時にコンプレッサーの作動を停止させ、エアタンクの排気を可能にする設計です。本機能を起動後、回転式タッチコントローラーで「Active　Dry」を選択することで複数回の排気作業を行い、エアタンク内の圧力を完全に0まで低下させることができます。この機能は、整備作業時の安全確保や一時的な空気補充が必要な場合に特に有効です



気圧平衡

圧力バランス機能メニューには「圧力優先」と「高度優先」の2つのオプションがあります。圧力優先モードでは目標高度到達時に左右の空気圧を可能な限り均等に調整します（この場合、車体左右に3 ~ 5mmの高度公差が生じる可能性があります）。一方、高度優先モードでは左右の高さが一致した状態で空気圧の均等化を図ります。



4. トラブルシューティングガイド

1 インストール後に画面が表示されません

ACC 配線接続の状態確認&MCU 安全装置の作動チェック

2 エアタンクが加圧できません

エアタンクの加圧状態を確認し、故障コードを消去すれば加圧機能が復旧する可能性があります

3 コンプレッサー故障

コンプレッサーが正常に作動していない可能性があります。設置工場点検を受けてください

4 車高センサー異常

車高センサーの物理的損傷、もしくはサスペンションストロークの不適切な設定が原因で、車両の挙動変化時にセンサー値が更新されない状態が発生しています

5 バッテリー電圧が低い

コンプレッサーの始動により、バッテリー電圧がシステムの保護電圧値よりも低下したため、システム警告が発生しました。電圧が回復すると、警告は自動的に停止します。

6 セルフテストが中断されました

校正中に中断が発生しましたが、原因表示がありません。バッテリー電圧が 12V 以上であることを確認してください

アプリの操作

1. アプリのダウンロード

iOS 版 ·Android 版ダウンロード

2.APP アプリ操作画面ガイド



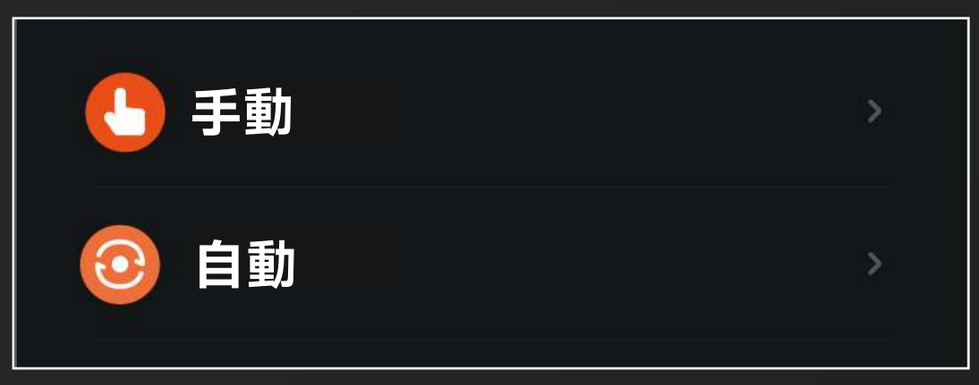
3. 機能紹介



ホーム画面操作ガイド	下位メニュー	機能説明
上にスワイプ クイックアクセス	ブルートゥース	このアイコンをクリックすると、Bluetoothスイッチがオンになります。青色がオン、灰色がオフ
	モーショントラック ロック	この機能が有効時は車両走行中にリモコン操作が不可となり、停車時に自動解除されますが、無効時はリモコンによるロックが実行されません。
	能動乾燥	このアイコンをクリックすると乾燥機能を手動で操作でき、さらにシステムはタンク内の湿度を検知して自動作動の有無も判断します。
	手動空気補給	アイコンをクリックすると、システムが空気の補充を開始します。再度クリックすると、空気補充が停止します。
	負荷分散	アイコンをクリックすると、荷重変化による車高変動時、システムが自動的に車両を水平に調整します。
	高さ設定	このアイコンをクリックすると高さメモリー設定画面に入り、ロー（LOW）及び1～4までの5段階のプリセット高さがカスタマイズ可能です。
下にスワイプ システムエラー通知	システム警告通知バー	本システムはすべての故障メッセージを表示可能で、各種高さセンサー異常、空気漏れ警告、温度異常アラート、システムアラーム等を含みます。偶発的な故障については「ワンキークリア」をクリックすることでリセット可能です
左にスワイプ 手動操作メニュー	手動操作	前輪の高さ調整：左前エアサスペンションと右前エアサスペンションは個別に手動高さ調整可能、もしくは両方の前部エアサスペンションを同時に手動調整することもできます
		後輪の高さ調整：左後方エアサスペンションと右後方エアサスペンションは個別に手動高さ調整が可能、または両方の後部エアサスペンションを同時に手動調整することもできます。
右にスワイプ メニュー設定	基本設定	1. 言語選択: 日本語、英語
		2. 輝度調整：画面の全体明るさを調整可能です
		3. ボタン設定：ボタン音と振動フィードバックの ON/OFF を選択可能です
		4. Bluetooth設定：携帯電話を使用してアプリを制御し、リアルタイムで制御できます
	システム設定	1. エアタンク圧力：タンクの高圧値と低圧値を設定することで、エアコンプレッサーの作動開始/停止圧力範囲を制御しま
		2. プリセット高さ設定：LOW、1、2、3、4の5段階の高さプリセットを設定可能
		3. バッテリー保護機能：16V高電圧保護スイッチと（9～12Vでカスタマイズ可能な）低電圧保護機能を搭載。
		4. 安全運転圧力保護： 走行中にエアサスペンションの空気圧が下がりすぎないよう、前後輪ごとに最低圧力値をPSIで設定できます。この設定値は、停車時以外であればどのモードでも維持されます。
		5. 始動/停止連動設定： 始動時プリセット（1～4から選択可能）、停止時ギアモード（低～4段階まで選択可能）
		6. メンテナンスモード： 本機能を有効にするとコンプレッサーの動作が停止し、システムメンテナンスが可能となります
		7. 圧力バランス機能： 車高設定後、自動的に左右の空気圧バランスを調整。車体左右のエアサスペンション圧力を均一に保ちます。
	システムキャリブレーション	1. 手動キャリブレーション： システムはセンサーを自動検出し、5種類の高さプリセットを設定しますが、車高の上下限は手動で設定する必要があります。
		2. 自動キャリブレーション： システムがセンサーを自動検出し、車高の上限·下限値を自動検知した上で、5種類の高さプリセットを設定します。
	製品について	バージョン

4. 手動校正と自動校正

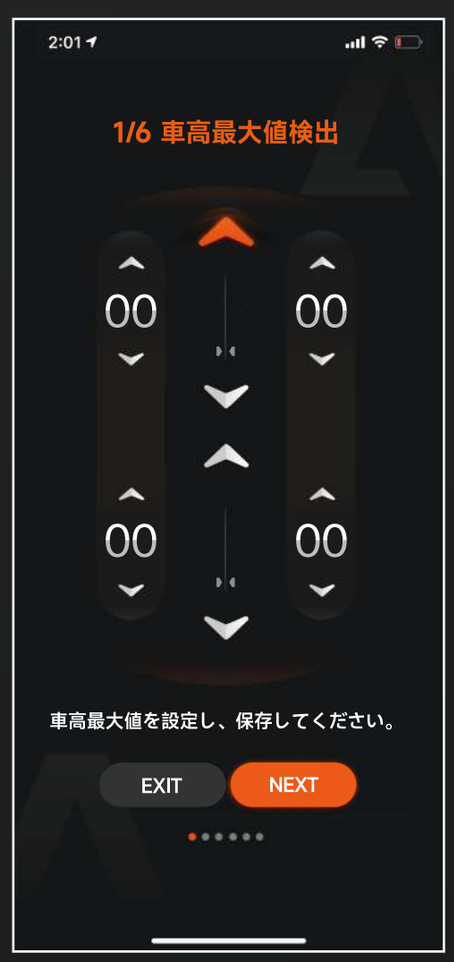
手動キャリブレーション 手動校正は、自動校正で目標高さに到達できない場合に、手動で空気を補充することで車両の最小·最大高さを設定する方法です。残りの検査手順や調整は全てシステムが自動で完了し、追加の手動設定は必要ありません。



手動キャリブレーション

手動校正は、自動校正で目標高さに到達できない場合に、手動で空気を補充することで車両の最小·最大高さを設定する方法です。残りの検査手順や調整は全てシステムが自動で完了し、追加の手動設定は必要ありません。

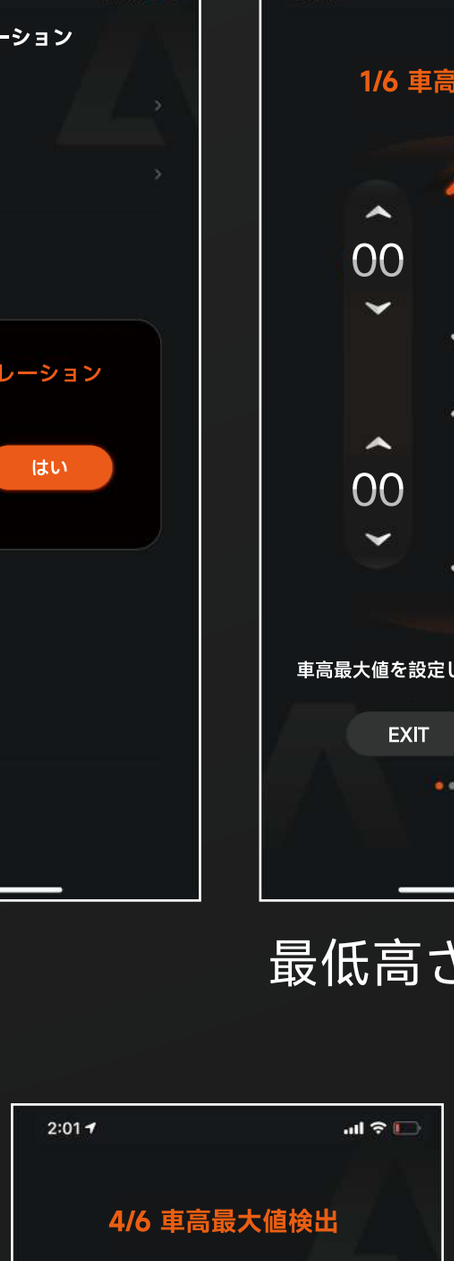


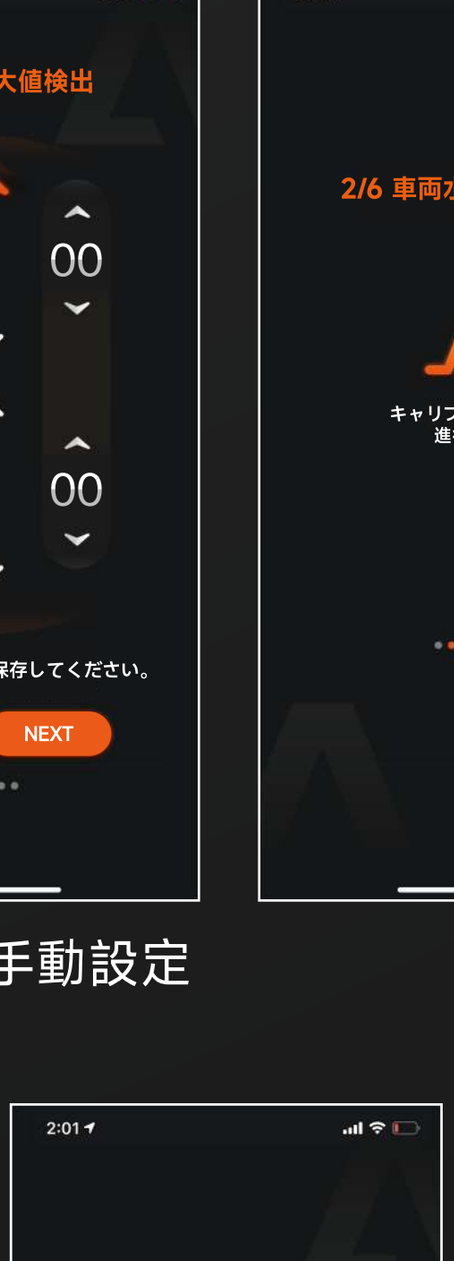






最低高さ手動設定







最高高さ手動設定

自動校正

自動校正は、車両の最高高さと最低高さを自動的に設定し、センサー状態やその他のシステム状態を自動検出します。校正に失敗した場合は、システムの指示に従って調整してください。













